

第1分科会

自立した学習者を育てる読むことの指導を目指して

山本 直子

1, 各教科の見方・考え方

教科	「午後の紅茶」の見方・考え方
社会科	どこで、どうやって作られて、運搬され、どのように人々の生活と関わっているのか など
理科	何でできているのか、この色は自然な色か、時間が経っても成分は変化しないのか など
図工科	形やパッケージの色、デザイン、美しさ
国語科	言葉による見方・考え方 言葉に着目…言葉の特徴、働きなど 何が書かれているか、なぜこの言葉か、 何を伝えようとしているのか など

見方…どのような言葉が使われているか

考え方…どうしてその言葉なのか、その言葉にはどのような働きがあるか

2, 自立した学習者

学習指導要領には、児童が自主的に学ぶ態度を育み、学習意欲の向上に資する観点

児童（生徒）が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を、計画的に取り入れるように工夫すること。



学習の見通しを持ったうえで、自ら問いを持ち、学び方を選択し、言葉を根拠に考え、対話で考えを深め、振り返る⇒**学び方の積み上げが必要**

小松先生のご発表の中から

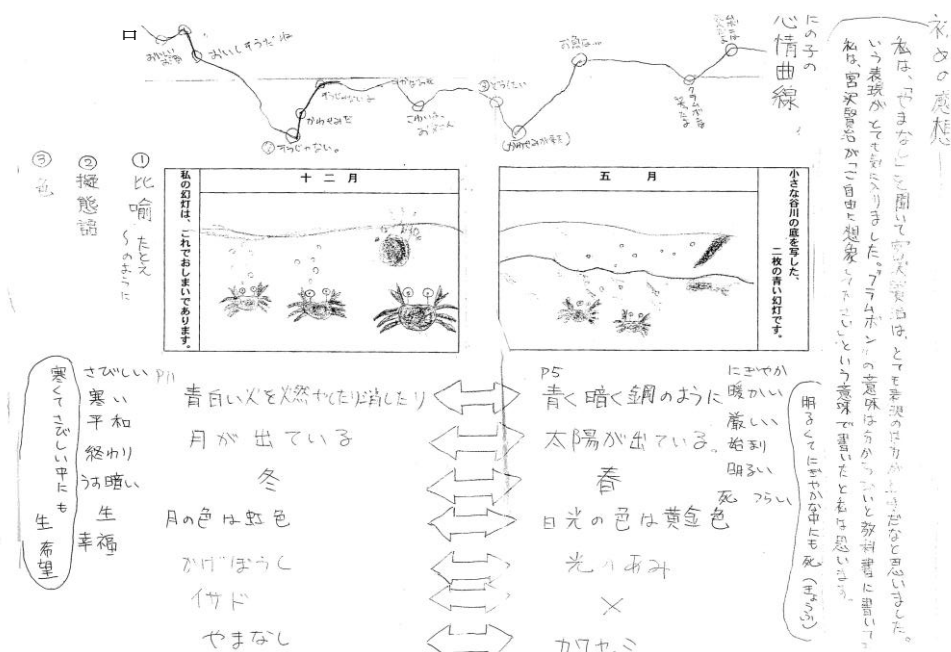
- ① 「読み方」を意識して読む
- ② 自ら読み進める
- ③ 言葉や文章を大切にする
- ④ 協働的に読む

「自分で問いを持つ」「根拠をもとに考える」「学び方の選択」「作者の考え方」
「学んだことを読書の本で活用」

自分の考えを見直す

3, 「言葉による見方・考え方」をさらに広げる

⇒言葉を通して、作品全体を見る視点を持つ



4. 広げる際に限定するもの

読書などに広げた場合、互いに理解できないものになりがち

共通の観点を限定することで、互いの発言を理解し、交流しやすくなる。

それが、学び方やまとめ方の1つの積み重ねとなる。

